

P 計画の基本事項				
基本目標	2 読書に親しむ環境づくり			
施策	(3) 読書バリアフリーの推進			
施策の方向性	誰もが利用しやすい図書館を目指し、館内設備やバリアフリー資料等の充実、及び支援が必要な人に対するバリアフリーサービス、多文化サービスの拡充を図ります。また、より多くの人のサービス利用を促進するため、周知の強化を図るとともに、サービスを提供・支援する人のスキル向上に取り組んでいきます。			
主な取組	①館内設備の充実			
	②バリアフリー資料の充実			
	③バリアフリーサービスの充実			
	④多文化サービスの充実			
成果指標	バリアフリーサービスの認知度	策定時点	目標値(R9)	
		17.0%	20.0%	
D 令和5年度(具体的な事業実施状況調査より)				
評価指標	重点事業	指標	実績(R5)	目標値(R5)
評価指標	バリアフリー資料の充実	バリアフリー資料の蔵書数	2,537冊	2,030冊
	外国語コーナーの充実	外国語資料の蔵書数	1,977冊	1,920冊
主な取組の実施状況及び今後の方針	①館内設備の充実		達成状況	
	◆本棚の下段が見つらいとの意見があったことから、立ったままでも本を選べるように傾斜板を設置する方法を検討した。令和6年度に一部の棚に傾斜板を設置する。(まどかびあ図書館) ◆コロナ対策で停止していた図書検索機の利用を再開した。(まどかびあ図書館) ◆ブックカート等の各種機器を導入した。今後は、拡大読書器など利用頻度が低い機器についてのPRを積極的に行う。(まどかびあ図書館)		②期待どおり	
	②バリアフリー資料の充実		達成状況	
	◆バリアフリー資料を収集するとともに、当該資料の設置場所を目に付きやすい場所に変更した。今後は大人向けのバリアフリー資料を充実させる。(まどかびあ図書館) ◆福岡県立図書館のサービスを常に把握し、必要な方に県立図書館のサービスを案内できるようにした。(まどかびあ図書館)		①効果が期待以上	
	③バリアフリーサービスの充実		達成状況	
◆対面朗読の受付を開始したが、希望者がいなかった。対面朗読の経験者が少ないため、研修会に積極的に参加し、希望があった際に対応できる体制を整える。(まどかびあ図書館) ◆持ち運び型の「拡大読書器」を導入した。今後積極的にPRを行う。(まどかびあ図書館) ◆大野城市役所所属の手話通訳士の同席を依頼できる体制を整		②期待どおり		

	<p>備したが、希望者がなかった。今後は体制を継続するとともに、PRを積極的に行う。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆点字ボランティアの代表者などが集まる会議に出席し、図書館のバリアフリーサービスを周知した。利用されなかったサービスが多かったので、今後はバリアフリーサービスの情報をボランティア団体と共有し、周知の徹底を図る。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆だれもが楽しめるおはなし会の作り方というテーマで、読書ボランティアを対象にした講座を実施した。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆障がい者手帳交付時にまどかぴあ図書館のバリアフリーサービスを周知した。今後も障がい者向けのサービスの周知を継続する。(福祉サービス課)</p>	
	<p>④多文化サービスの充実</p>	
	<p>◆対訳本や学習資料を集めて外国語コーナーを充実させたが、目立ちにくい場所にあるため、今後は棚の設置場所を検討する。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆英語、中国語及び韓国語による利用案内を作成した。翻訳者によって添削されたものを元に再編集する予定である。(まどかぴあ図書館)</p> <p>◆意思表示や対話の助けとなるコミュニケーションボードをカウンターに設置した。今後はコミュニケーションツールについて周知を行う。(まどかぴあ図書館)</p>	<p>②期待どおり</p>
<p>C 評価</p>		
<p>推進委員会 評価</p>	<p>◆問題なく実施されている。「バリアフリー資料の充実」については、目標を上回る成果を出すことができている。ぜひ記載されているとおりに継続して取り組んでほしい。</p>	
<p>検討が 必要な事項</p>	<p>◆なし</p>	
<p>A 改善</p>		
<p>改善結果</p>		